

令和7年度 部局経営目標

年度	令和7年度	作成日	
部局名	蒜山振興局	部局長名	南 博晴
(1) 部局の方向性(テーマ)			
1.地域の強みを活かした産業振興 地域の事業者と協力して誘客増を図るとともに地域産物のブランド化と販売を推進する。 2.観光地域づくりの推進 自然再生協議会などと協働して自然環境を守りつつ活用するとともに、地場の農業や地域資源の活用を応援する。 蒜山の自然環境を活用したスポーツを支援する。 3.移住定住の促進 地域ぐるみでの移住者支援を応援するとともに転入者にやさしい行政サービスを進める。			
(2) 部局の重点施策			
1. 回る経済と脱炭素への挑戦	(1) 蒜山地域の価値向上と周知を図るイベントを支援 (2) 自然再生協議会との協働と連携 (3) 地域産業の支援 (4) 伝統工芸の再ブランド化と活用		
2. にぎわいにあふれ豊かさを実感できる真庭	(1) 空き家活用と移住者支援 (2) 蒜山地域を活かしたスポーツの推進		
3. 支え合い いきいきと誰もが活躍できる真庭	(1) 輝く女性の活躍を応援		
(3) 事業成果目標			指標名及び目標値
●人口減少抑制対策(1) 「生むこと・育てること」を支援 ・母子手帳交付時及び妊娠中に、安心して出産できるよう相談や情報提供を行い、「生むこと・育てること」の悩みや不安を軽減します。 ・出産後は、早期に訪問し、子育て環境の確認や様々な不安や悩みを聞き、それに応じた情報提供を行い、適切なサービスに繋げ、地域で健やかな子育てができるようサポートします。 ・育児不安の軽減や子育ての孤立を予防するため、つどいの広場や親子クラブなどの情報提供を行い、子育て中の親子が地域とのつながりを持てるよう支援します。 ・事故や虐待から子どもを守るため、こども園、小中学校、民生児童委員等と連携をとり、地域で一体となった支援を進めていきます。			指標：①つどいの広場の延べ参加者数
			目標値:1,200人
			(令和6年度実績値:①1,157人)

●人口減少抑制対策(2) 地域と連携した高校魅力化及び里山留学の推進 【高校魅力化】 ・学習交流センターにおいて、学術、教育、文化及びスポーツの振興を図るとともに、こども園等・小中高校又は地域住民の交流を促し、青少年の教育環境の充実を図ります。 【里山留学の推進】 ・里山留学におけるホームステイタイプの留学生の受け入れ体制を継続かつ充実させ、里山教育の魅力向上と交流人口増加に努めます。 ・地元講師による協力体制を充実させます。	①蒜山校地生との交流回数 ②留学生受入れ人数 目標値:①6回、②3人 (令和6年度実績値:①4回、②留学協議会開催数6回)
2-(1)人口減少抑制対策(3) 空き家や空き地を活用した転入者及び定住者の居宅確保 ・自治会や事業者と協力して、活用可能な空き家や空き地の情報が収集できるようにし、転入者及び定住希望者の居宅の確保並びに起業家及び事業者の雇用確保のために活用できる体制の構築を進めます。	指標:①体制の構築 目標値:体制の構築の協力者等確保 新規
●生ごみ資源化対策関連事業 ・生ごみ等の資源ごみの分別に関する理解と取組を促進するため、蒜山地域内の各種団体の総会や研修会の機会を捉え、講座を積極的に開催します。	指標:①団体等への説明開催数 目標値:①5回 (令和6年度実績値:①28回)
1-(2)(4)自然再生協議会活動の発展と地域資源の活用 【自然再生協議会】 ・自然再生協議会は、協力企業などと連携し、山焼きなどの草原保全や希少種動植物保護の取り組みをさらに拡充するとともに自然との共生に拘る蒜山ブランドイメージをさらに発展させます。 ・山焼き・草刈りなどの体験活動は、地域内外の知恵と力を連携させ、活動と学びの場を広げるとともに関係人口の増加を図ります。 ・失われつつある湿原の保全再生整備を実施します。 【地域資源の活用】 ・協力企業や日本茅葺き文化協会、蒜山茅刈出荷組合などと連携して、ススキの茅材としての経済的活用を広げ、持続的な草原の保全及び山焼きの継承を図ります。 ・郷原漆器やガマ細工の原材料確保体制を構築し、伝統工芸の振興を図るとともに、更にブランド化を推進します。	指標:①協議会活動参加者延べ人数、②茅材の生産数 目標値:①600人、②300束 (令和6年度実績値:①学びの会開催18回、②学びの会等参加者517人、③茅材の生産363束)
1-(1)(3),2-(2)蒜山全域の周遊促進と経済効果の向上 自然景観・スポーツ文化活動、伝統行事などを積極的に報道機関等へ発信し、周遊を促し、経済効果を高めていきます。 ・GREENable蒜山を中心とした蒜山高原では、関係企業などが開催するイベントに協力及び連携することで地域価値の向上と周知を進めます。 ・自然広場「風のパレットHIRUZEN」は、蒜山らしいスポーツイベントに活用するとともに市民が気軽に楽しめる公園として利用を促進します。 ・サイクリング観光を推進するため、観光事業者等と連携し、サイクリングロードの点検や利用者の満足度向上につながるイベントを開催します。 ・ライディングパークは、馬とのふれあいや美しい自然と馬を鑑賞できる公園として、また馬術競技が行える公園として、西日本ナンバー1を目指して管理者と協力します。 ・津黒高原観光の将来のあるべき姿をイメージできるよう、各施設の整備方針や目指すべき方向性を地域の関係と協議します。	指標:①報道依頼回数、②蒜山地域の観光客数 目標値:①15回、②200万人 (令和6年度見込値:①報道依頼回数12回、②蒜山地域の観光客数2,024,907人、③レンタサイクル利用者数4,217人)